

係ノ國務大臣ノ出席ヲ求メテ置キマシタ、大臣モ來テ居ルノデアリマスガ、豫算總會ノ最終日デアリマスカラ今日ハ向フヘ譲リマシテ、明日ヨリ一般ノ質疑ニ移リタイト思ッテ居リマスガ、大臣ノ出席ナシニ質問シヨウト云フ御希望ノ方ガアリマスカラソレヲ通告願ニ依ッテ許シマス——其前ニ材料ノ要求ガアリマスカラ、森田君

○森田委員 政府ニ斯ウ云フ材料ノ御提出ヲ一ツ御願シタイ、災害豫算ニ關シ道府縣及市町村起債額、イ、既許可ノ分、ロ、申請中ノ分、ハ、將來ノ申請見込額、ハ、ノ將來ノ申請見込額ハハッキリ分ラヌデアリマセウガ、イ、ロ、ヲハッキリシタモノヲ書類デ御提出ヲ願ヒマス、ソレカラ序ニ一言、材料ヲ願ッタ中ニ、昭和十年度ノ分ノ第一種ト第三種ノ見込額ノモノガアリマスガ、普通超過所得ノ見込ガアリマセヌ、是ハ昨日提出シタマケデアリマスガ、成ベク早く御提出ヲ願ヒマス

○岡田委員長 大口君

○大口委員 私ハ此各種ノ案ノ中デ、臨時利得税ノコトニ付キマシテモ大分澤山質問ガアルノデアリマスガ、ソレハ今日大藏大臣モ御出席ニナラナイコトデアリマスカラ、後ニ留保致シマシテ、最後デモ宜シウ

ゴザイマスカラ質問ヲ御許シテ願フコトニ致シテ、税法以外ノコトニ付キマシテ質疑致シタイト思ヒマス、第一ニ伺ヒタイノハ造幣局ノ資金ヲ使ヒマスコトニ關聯致シマシテ、造幣局ノ積立資金ガ只今如何程ニナッテ居リマスカタ云フコト、銀貨ヲ製造致シマスノニドレ位ナ實費ヲ要スルカ、例ヘバ五十錢銀貨一個ヲ造ルニ實費ハドレダケ掛ルカ、サウ云フコトヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

○青木政府委員 御答致シマス、造幣局資金現在高ハ昭和九年十二月末日ニ於キマシテ八千六百二十二萬七千三百五十一圓ゴザイマス、其内譯ト致シマシテハ、現金三千六百六十九萬六千餘圓、地金ガ二千五百萬四千餘圓、引揚舊貨幣ガ一千九百九萬五千餘圓、流通不便貨幣ガ百十萬三千餘圓、差益金ノ繰替使用ガ二百萬圓、昭和七年法律第十二號ニ依ル地金拂出額ガ九百五十三萬二千餘圓等ガ其主ナルモノデアリマス

次ニ補助貨ノ製造實費ニ付キマシテハ、只今銀貨ノコトノ御尋デゴザイマスガ、十年年度豫算ニ於キマシテハ一個ノ銀貨ノ製造費、材料費合計十三錢チヨット上ニ出テ居リマス

○大口委員 次ニ御質問申上ゲタイノデア

リマスガ、對支文化ニ關スル資金、即チ大正十二年法律第三十六號ニ依ル特別會計ニ屬スル資金デアリマス、之ヲ國際文化事業ニ關シテ必要ナル經費ヲ支辨スル爲ニ毎年度當該事業ニ必要ナダケノ豫定額ヲ是カラ繰替使用ヲスルト云フノデスケレドモ、先ヅ此繰替使用ト云フノハドウ云フコトデアリマセウカ、其資金ヲ國際文化事業ノ方ノ豫算ニ充當シテ、サウシテ使フト云フコトデアッテ、後日之ヲ返却スルノデアルカ、ドウ云フ風ニナルノデアリマセウカ、此繰替使用ト云フコトヲ事實ドウヤルノカ、先ヅソレヲ伺ヒタイ

○松本政府委員 御答申上ゲマス、繰替使用ト申シマスコトハ、餘裕ノアル場合ニ一時繰替ヘテ使フト云フコトデアリマシテ、只今ノ場合デモ、一般會計ニ餘裕ヲ生ジタ時ニハ之ヲ返スト云フ意味ダサウデアリマス

○大口委員 ソコガエライ問題ナノデアリマシテ、大正十二年法律第三十六號ニ依ル特別會計ニ屬スル基金ハ御承知ノ通り最初山東資金デ、支那カラ入ッテ來タ金ヲ元ニ致シテ、政府委員モ御承知ノ通り、當時議會デ大分論ゼラレタモノデ、ソレガ資金ニナッテ、ソレカラ生ム所ノ利益デ此事業ヲヤッ

テ居ルノデアルガ、法律ニ明記シテアッテ、其方デハ三百萬圓以上ハ使フトハ出來ナクナッタ、ソレダカラ昭和十年年度ノ豫算ヲ見テモ、二百九十萬圓ト組ンデ居ル、勿論此對支文化事業ノヤリ方ニ付テハ色々議論ガアリマス、世評ガアリマスガ、ソレハ別問題トシテ、其方面ニ使フ金ハ三百萬圓以上使フトハ出來ナイコトニナッテ居ル、ダカラ金ガ餘ッテ積立金ハ殖エマス、資金ハ殖エマス、之ヲ何カ良イコトニ使フト云フコトニ付テハ私ハ何モ異論ハナイ、反對シヨウトハ思ハヌガ、法律ノ趣意ヲ没却スルヤウナコトヲ、又別ノ法律ニ依ッテ作ルト云フコトハ、餘程ソコニ問題ガ起ル、起ルカラ結局繰替使用ト云フコトヲハッキリシテ置カナケレバナラス、所デ昭和十年度ハ國際文化事業ニ御使ヒニナル金ガ百萬圓バガリダト思ヒマスガ、是ハ國家ニ餘裕ガアルト云フノダケレドモ、赤字ガナクナッデカラト云フ話デハ是ハ何時返ルカ分ラナイ、サウスルト云フト今法律デ定メテアル金ヲ、又法律ヲ以テ異ニ定メタ趣意ト違ッタコトニ資金ヲ使ッテ行ク、是デハ何時返セルカ分ラナイ、斯ウ云フコトデハ異ノ法律ヲ作ッタ時ノ趣意ト全然反スルコトニナル、是ガ私ハ問題ダト思ヒマスガ、繰替使用ト

云フコトハ返スモノデアルト云フコトヲハッキリシテ、返スナラバドウ云フ方法ヲ返スカ、ソコガ明瞭デナクテハナラスト思フカラ、ソコヲ伺ヒタイノデス

○松本府委員 大口サンノ御尋デアリマ
スガ、吾々モ極メテ同感ノコトデゴザイマ
スガ、只今ノ實際ノ事情ヲ申シマスレバ、
貨幣交換ノ差益金ガ毎年約二百七八十萬圓
アルノデス、是ハ對支文化事業特別會計ヲ
初メニ作ツタ場合ニハ、豫期シナカッタコト
デゴザイマス、ソコデ其貨幣交換差益金ノ
中カラ百萬圓ヲ繰替使用スルト云フコトデ
ゴザイマス、ソコデ之ヲ外ノ事ニ使ッテ果
シテ返セルカト云フ御話デアリマスガ、是
ハ貨幣交換差益金デゴザイマスカラ、一方
ニハ今日一般會計ノ方ニ所謂貨幣交換ノ爲
替差損金ガ澤山計上シテゴザイマス、ソコ
デ將來此貨幣交換ノ差益ガナクナルヤウナ
場合ニナレバ、一般會計ノ方ノ爲替ノ差損
金ト云フモノガナクナルノデゴザイマスカ
ラ、ソコニ於テ國ノ財政ニハ相當ノ餘裕ガ
出來ルト考ヘテ居リマス、其場合ニハ之ヲ
返シテ藏クト云フコトニ考ヘテ居リマス
○大口委員 サウナルト大分私ノ疑問ヲ深
クシテ來ルノデゴザイマスガ、斯ウ伺ッ
テ直グ御分リニナリマセウ、サウ云フ考デ

居ラレルナラバ何故ニ大正十二年法律第三
十六號ノ一部ヲ改正サレヌノデセウカ、ソ
レナラバ爲替差損金ノヤウナ特別ノモノガ
入ル場合ハ、他ノ事業ニ使ッテモ宜イト云
フコトニサレ、バ宜イガ、對支文化事業特
別會計法ノ第一條ニハ「對支文化事業助長
ノ爲特別會計ヲ設置シ、其ノ歳入ヲ以テ其ノ
歳出ニ充ツ」トハッキリ目的ガ書イテアル、
尤モ是ハ三百萬圓以上ハ使ハナイ、アトハ
資金ニ積ムト云フコトニナッテ居テ目的ガ
極ッテ居ル、サウシテ此金ノ入ッテハドウ
云フ金デアルト云フコトガ明デ、サウシテ
我國ハ支那ノ爲ニ斯ウ云フ事ヲヤルンダト
云フコトガ議會デ法律ヲ作ッテ明瞭ニナッ
テ居ル、ソレガ一寸今茲デ金ガ餘ルカラト云ッ
テ「繰替使用スルコトヲ得」ト云フ法律ヲ
作ッテ、眞ニ作ッテ法律ノ根本趣旨ヲ没却ス
ルヤウナコトヲシテ、返サレルカドウカ分
ラヌヤウナ金ニ支出シテ、ソレデ使用スル
ト云フコトハ甚ダ是ハ矛盾スル、サウ云フ
ヤリ方ガ私ハ洵ニ宜クナイト思フ、事柄ハ
私ハ惡クナイヤウニ思フガ手續方面白クナ
イ、ダカラ今御説明ノヤウナコトナラバ、
大正十二年法律第三十六號其モノニ手ヲ入
レテ改正シテ掛ラレタラドウデセウ、ソレ
ヲ繰替使用スルコトヲ得ト云フコトデ、ヒ

ヨットヤラウトスル、是ガ宜クナイト思フ、
ソコヲ一ツ明ニシテ載ケレバ私共ノ疑問ハ
解ケル

○松本府委員 實ハ政府ノ此提案ヲ致シ
マシタノガ、寧ロ大口サンノ只今仰セニナッ
タ根本趣旨ニ副ヒ得ルカト思フ考カラ出シ
タノデアリマス、對支文化事業特別會計法
ヲ直シマシテ、サウシテ此對支文化事業特
別會計法ニ學ゲテアル目的以外ニ使用スル
ト云フコトヲ認メマスナラバ、根本的ニ其
使用ノ目的ガ動搖致シテ來ルノデアリマス、
ソコデサウシタクナクテ、餘裕ノアル場合
一時繰替使用スル、斯ウ云フ特殊ナ實例ヲ
開イテ、一般會計ニ餘裕ノアツタ場合ニ返
シテ載ク、斯ウ云フコトニ實ハ考ヘテ居
タノデアリマス

○大口委員 明瞭ナ御答デ、サウグラウト
思フ、ソレガ私トハ正反對、ソレガ胡麻化
シ、表面ノ目的ヲ變ヘナイヤウニ見セテ、
實際ハ目的ヲ變ヘテ使ッテシマフ、何時返セ
ルカ分ラナイ、其政府ノヤリ方ガ氣ニ入ラ
ヌ、ソコヲ暴露シタカッタ、是ハ宜クアリマ
セヌ、是ハ政府委員率直ナ御答デ餘程巧ニ
オヤリニナッテ御積リダガ、其巧ニヤッタノガ
怪シカラヌト思フ、私ト反對ナンダ、サウ云
フコトバカリ政府ハヤル爲ニ知ラズニヤレ

バ知ラヌデ通ッテ行ッテシマフ、何時ノ間ニ
カ事實ハ變ヘラレテシマフ、三百代言ノヤ
ウニ法律ハ變ヘマセヌ、目的ハ變ヘナイ、
繰替使用デス、コンナコトデ國民ヲ胡麻化
サウタッテ胡麻化セルモノデアリマセヌ、
其料簡ヲ變ヘナケレバイケマセヌ、モット眞
面目ニ正直ニヤッタラドウカト云フノガ私
ノ論デス、全體國際文化事業ト云フノハド
ンナコトヲヤルノデスカ、ソレヲ聽カシテ
戴キタイ、結論ハ私申シテ置クガ賛成シテ
宜イラシイ、手續ガ面白クナイ

○松本府委員 只今大口君ノ仰セノ初メ
ノ部分ハ御答ヲ申サナクテモ宜イカモ知レ
マセヌガ、是ハドウモ見解ノ相違デ致方ガ
アリマセヌガ、私共ハ只今ノヤリ方ノ方ガ此
對支文化事業特別會計法ヲ作ッテ其趣旨ニ
副フト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレガ胡麻化
シダト云フコトデアリマスガ、私共ハ胡麻
化シデナク、此方ガ適當ダト考ヘテ居リマ
ス、是ハ幾ラ申上ゲマシテモ見解ノ相違デ
ゴザイマセウカラ仕方アリマセヌガ、
唯私共ハ決シテ胡麻化スナドト云フ考ハ
有ッテ居ラナイト云フコトハ特ニ御諒解ヲ
願ヒタイ、ソコデ國際文化事業ノ内容ヲ御
尋デゴザイマスガ、昭和十年度ニ於キマス
ル國際文化事業ノ一番主ナル費目ハ、他ノ

國際文化事業團體ニ對スル補助金デアリマス、何レ今委員會へ書類ニ依ッテ御手許ニ差上ゲルヤウニ致シマスカラ、ソレニ依ッテ詳クハ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、其國際文化事業團體ト申スノハ、國際文化振興會、日本國際協會此二ツニ對スル補助金ガ一番大キナ費目デゴザイマス、ソレニ次イデハ學術教育施設ノ助成費、日本ノ文化及日本語ノ講座ヲ外國ノ大學等ニ設ケル、ソレカラ外國トノ間ニ交換教授ヲ致スト云フ風ナ費用、在外ノ小學校教科書編纂費、在外ノ諸學校ニ對スル補助金ト云フ風ナモノガ主タルモノデゴザイマス

○大口委員 私ハ此問題デ時間ヲ潰スノハ好ミマセヌガ、見解ノ相違ダト云フコトデ刎ネヨウト爲サルナラバ、私ハ尙ホ一言承リタイ、繰替使用ト云フガ、此金ヲ何時返ス豫定デス、ドウ云フ計畫ニナッテ居リマスカ、是ガ容易ニ返セナイコトニナッテ居ル胡麻化シデヤアリマセヌカ、是ハ理窟ヲ言ヘバ三百理窟ニナルノデ私モ慎ンデ居ッタガ、法律上ノ見地カラ言ヘバサウ金ガ餘ッタラ對支文化事業ヲモット三百萬圓以上ニ擴張シテ然ルベキモノデヤアリマセヌカ、此法律ヲ作ッタ——大正十二年法律第三十六號ヲ作ッタ時ノ趣旨カラ言ヘバ、三百萬圓ニ

限ラナクテモ宜イデヤアリマセヌカ、サウ

金ガ餘レバモット對支文化事業ニ投ズルノガ正當ナ理窟デヤアリマセヌカ、ソレヲ三百萬圓ニ限ッテ、特別ノ臨時收入ガアルカラト云フノデ他ノ方ヘ繰替使用シテ、サウシテ法律ノ元ハ變ッテ居ナイ、ヤハリ對支文化事業ニ使フモノニナッテ、ソレデ繰替使用スル、此金ハ何時對支文化事業ニ返ス見込デアリマスカ、之ヲハッキリ聽キタイ、返セル見込ハナイデセウ、ナイモノヲ斯ウ云フ目的ノ違ッタモノニ出シテ、繰替使用デヤルト云フコトハ私ニ胡麻化シト言ハレテモ已ムヲ得ヌ、政府ハ胡麻化シデゴザイマススト云フ答辯ハ出來マスマイ、ケレドモ、公平ナ國民ガ見タラ繰替使用ト云フ言葉ハ胡麻化シダト言ハレテモ一言モアリマスマイ、決シテ胡麻化シデハナイガ、實ハ斯ウダト云フナラ諒トスルケレドモ、見解ノ相違デ私ヲ刎ネヨウトスルナラバ、繰替使用ト云フノハ何時返セマスカ、言ッテ御覽ナサイ

○松本政府委員 何時返セルカ、返セナイカト云フコトハ大藏省ノ立場ニナルカモ知レマセヌガ、私共外務省ノ立場トシテハ、一般會計ニ餘裕ノ生ジタ時ハ返シテ貰フ、其一般會計ニ餘裕ノ生ジタト云フ時ハ爲替差損金ノナクナッタ時、斯様ニ考ヘテ居リマ

ス

○大口委員 私ハ政府ニ聽クノデス、外務省ノ立場ヤ大藏省ノ立場ハ聽イテハ居ナイノダ、今日赤字ガ出テ居ッテ、サウ云フコトガ出來ルナラバ、何モ爲替差損金——是モ何時ナクナルカ分リハシナイ、爲替ト云フモノガ何時戻ッテ來ルカ、金ノ輸出ヲ玆デ再ビ解禁デモスレバソレハ戻リマセウ、差損金ハナクナリマセウ、併シソシナコトハ何時出來マスカ、大概常識ヲ以テ分リマス、又今日ノ赤字財政ニシタ所ガ分リマス、分リマスカラ實ハ其通りノ趣意ダト認メテ、斯ウヤルコトノ方ガ便利デアッタト認ムルト云フナラバ、ソレハ恕スベキ所モアルケレドモ、見解ノ相違デ是デ宜イノダト云フコトデ突ッ張ラウト云フナラ、繰替使用ト云フコトハ——ソシナラバ其差損金ガ何時ナクナル見込デアルカ、今日日本ノ爲替ガ「バ」ニナルト云フコトハ何時ノコトカ、近イ中ニ金ノ輸出ヲ解禁スル見込ガアリマスカ、モウチット正直ニ御答ニナラナケレバイケマセヌ、ソシナ理窟デヤ閉口シマセヌ

○松本政府委員 私ハ不正直ニ御答シテ居ルノデハアリマセヌ、繰替使用ト云フコトガ何時返スト云フ年限ヲ申上ゲナケレバ胡麻化シデアル、斯ウ云フコトナラソレハア

ナタノ御議論ガ宜シイノカモ知レマセヌケレドモ、私ハ繰替使用ト云フコトハ何レ後程返シテ貰フ、後日ト云フコトハ將來何年ト云フコトヲ指定シナクテモ、返シテ貰フト云フ當テガアル、サウ云フ積リデアレバ是ガ繰替使用デアッテ別ニ目的外ニ胡麻化シテ使フト云フコトニハナラナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○大口委員 ソレハ言葉ニ隠レルダケデ、返シテ貰フト云ッテモ容易ニ返シテ貰フ見込ガナイデヤアリマセヌカ、爲替差損金ガナクナッタ時返ルト言フガ、何時ナクナル見込ガ立ツカ、今日亞米利加ニ對スル爲替ニシタ所ガ二十幾弗ニ下ッテ居ル、是ガ四十何弗、五十弗ニナル見込ト云フモノハ、常識ヲ以テ考ヘタッテ容易ニアルモノデヤアリマセヌ、政府ニ金ノ解禁ヲスル決心ガナケレバ、ソコヘ來ハシナイ、ソレカラ赤字モ今日普通ノ赤字ダケデ五億幾ラ六億近イモノガ出テ居リマシテ、此赤字ガ五年七年デ戻ラウトハ思ヘマセヌ、ソレナラ何時返ルカ、見込ガナイデヤアリマセヌカ、常識ヲ以テ考ヘテ、ソレヲ將來何年ニ返スト云フコトヲシテナイト云フコトハナイ、繰替使用ト云フコトデヤレバ何時カシラ返シテ貰ヘルカラ宜イ、此位不確實ナ非常識ナ

コトハナイ、私ニハ諒解出來マセヌ、コン
ナ問題デ時間ヲ潰ス積リデ始メタノデヤナ
イノデスガ、アナタノ方デ引掛ッテ來ルカ
ラコッチモ引掛ラザルヲ得ナイ、モウ少シ
有體ニ御答ニナレバ私ハ直グニ諒トシマ
ス、ソレヲ繰替使用デヤルコトガ、却テ元
ノ方ノ精神ヲ没却セヌ所以ダト云フヤウナ
理窟ヲ付ケテ來ルカラ承知シマセヌ、ソ
ナ考ハ大間違デス、斯ウ云フコトハ大問題
デス、私ハ此處デハ是ダケ承ッテ置キマス、
政府ノ意思ハ能ク分リマシタ、私ハ何處マ
デモ斯ウ云フ使用ノ仕方ハ宜クナイト思ヒ
マス、此問題ノ質問ハ是デ仕切りマスガ、
是ハ只ハ濟マセマセヌ

次ニ私ハ昭和十年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ
伺ヒマス、此五億六千五百九十萬圓ハ政府
ノ御示ニナリマシタ昭和十年度一般會計豫
算綱要ノ中ニアリマスル歳入補填公債ニ當
ルモノデアルト思ヒマスガ、此中ニハ矢張
臨時議會デ決リマシタ災害費ニ充ツル年度
割六千五百萬圓ガ含マレテ居ルト思ヒマス
ガ、如何デゴザイマセウカ、政府ニ承リタ
イト思ヒマス

○賀屋政府委員 只今ノ御質問デゴザイマ
スガ、大口サンノ御話ニアリマシタ通り一

般會計ノ歳出ノ全額ヲ支辨致シマスル爲ニ
ハ、外ノ普通ノ歳入、尙ホ滿洲事件費公債デ
アルトカ、震災善後公債トカ、道路公債デア
ルトカ、特定ノ費途ガ決ッテ居ル公債ヲ合セ
マシテ歳入ノ總計ガ歳出額ニ達セナイ差額
ニナッテ居リマスカラ、隨テ御承知ノ通りニ

其財源ハ一般財源デアリマスカラ御話ノ昭
和九年ノ災害ニ對スル善後公債モアレデ出
スト云フヤウニ、本質的ニハサウ結ビ付ク
カモ知レマセヌケレドモ、是等ガ皆入りマ
シテノ不足額ニ對スル財源ダト思ヒマス
○大口委員 分リマシタ其通りダト思ヒマ
ス、是ハ主計局長デハ御答辯出來兼ネルカ
モ知レマセヌガ、ア、云フ災害ニ對スル巨
救費ハ今マデズット公債デヤッテ來タノデア
ルカラ、アレダケハ特別ノ公債ト見テ一般
ノ歳入補填公債ノ中ニ入レズニ、恰度滿洲

事件公債ノヤウニ特別ノ公債法ヲ設ケテ、
公債ヲ募ラレテ支辨スルコトガ當然デア
ルト思フ、サウヤラナケレバ結局財政上災害
ガ或ル地方ニアッテ、ソレヲ匡救スル爲ニ災
害ノナイ所ノ土地ノ者マデ國費ヲ制限サ
レ、減ジラレ、非常ナ迷惑ヲ蒙ッテ、エラク
事業ヲ縮メラレテ、其結果ハ災害地ニ行ク
ヤウニナルカラシテ、一方ニ非常ナ不公平
ヲ見ルト思フノデス、何故ハ特別ノ災害

公債トシテ茲ニ計算スルヤウナ方法ヲ探ラ
レヌノデアラウカ、政府ノ根本方針ヲ伺ヒ
タイノデス

○賀屋政府委員 只今大口サンガ御話ニナ
リマシタヤウニ、私ノ申上ゲルノハ少シ問
題ガ適當デナイカモ知レマセヌガ、私共ノ
考ト致シマシテハ、御話ノ如ク大ナル災害
ガアリマシタ場合ハ、公債ノ財源デ支辨ス
ル方ガ財政上宜シイト云フコトハ至極御尤
ト考ヘテ居リマス、一番近イ例ハ大正十二
年ノ關東大震災火災デアリマス、其善後處置ニ
付キマシテハ震災善後公債ノ發行ガアリマ
シタ、詰リ國家ノ普通ノ歳入ト云フモノハ

不時ニ起ッタ大キナ臨時ノ歳出ニ對シテサ
ウキチント合フヤウニ出來テ居ルモノデハ
アリマセヌ、サウ云フ臨時ノモノガアレバ
ソレヲ公債ニ依ッテ、長イ間ニ普通ノ歳入ヲ
以テ之ヲ漸次返シテ行ク、斯ウ云フ計算デ
アラウト思フ、所ガ只今ノ日本ノ財政ノ現
狀ハ、災害デハアリマセヌガ、國防費ナドニ、
所謂非常時トシテ特別ニ大キナ金ガ要リマ
ス、其外各般ニサウ云フモノガ要リマシテ、
詰リ全體ガ非常時的ノ支出ガアッテ、財源ガ
要ル譯ナノデアリマス、詰リ災害ニ對シテ
特別ノ公債デヤッテ宜イト云フノハ、小サイ
災害ナラバ大概普通ノ財源デ宜イノデアリ

マスガ、サウ云フ臨時のニ大キナ必要ガア
ルモノヲ直グ普通財源デ以テ支辨シロト云
フコトハ無理ダト思ヒマス、只今ハ其災害
モアリマスシ、非常ニ大キナ國防費モアリ
マス、斯ウ云フ時デアリマスカラ、サウ云
フヤウナモノガ他ニ何モナクテ災害ガアッ
タ上ニ特別ニ膨レテ居ル狀態デアル、サウ
云フモノヲ一括シテ考ヘマシテ、御話ノヤ
ウニ特別ノ公債法ヲ出シテモ別ニ差支ナイ
ト思ヒマスガ、斯ウ云フモノヲ一括シテ考

ヘマシタ、例ヘバ滿洲事件費ハ是ハ沿革的
デアリマシテ、昭和六年カラ始リマシテ、
其當時既ニ將來歲計ノ不足ガ起ルデヤナイ
カト云フ豫測ヲ立テラレタ方モアリマセ
ウ、又國費ノ財源ト致シマシテ、ア、云フ
公債ガ出來マシテ、暫ク其慣例ヲ取ッテ居
マス、其後兵備ノ改善ニ巨額ノ金ヲ要シマ
シタ、是モ考ヘヤウニ依ッテハ別ノ公債ヲ
出シテモ宜イカモ知レマセヌガ、兎ニ角サ
ウ云フモノヲ一括シテ考ヘマシタノデ、特
別ノ公債法ヲ出シテモ惡イトハ思ッテ居
マセヌガ、只今ノ處置デモ差支ナイデヤナ
イカト考ヘテ居リマス

○大口委員 ソレハサウデス、唯御意見ヲ
承ッタノデスガ、今ノ御意見ハ能ク分リマシ
タ、サウスルトモウ一ツ承リタイノハ、震

災害後公債トカ道路公債トカ云フモノハ、今私チヨット茲ニ古イモノハ法律ガ知レナイカラ分リマセヌガ、何レ是ハ公債法ガ定マツタ時ニ、其使途ト云フモノハ指定シナクチャナラヌト思フ、果シテ然リトスレバ、一寸私共ガ算盤ヲ入レタノデハ豫算ト一致シナイデス、例ヘバ震災善後公債ハ七百四十五萬四千餘圓募集サレルコトニナツテ、道路公債ハ五百五十七萬四千餘圓發行サレルコトニナツテ居リマスガ、總テノ豫算全部ニ互フデ、ドレト／＼ガ之ニ當ルカ、一ツ御調

ベガ出來テ居ルデセウカラ、只今デナクトモ宜シイカラ、御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋政府委員 御要求ハ畏リマシタ、唯一言申上ゲテ置キマスガ、震災善後費ノ方ハ甚ダ私ノ方デ申上ゲヤウガ不十分デシタガ、大體震災善後費ノ歳出總額ニ合ッテ居ルト思ヒマス、道路ノ方ハ御承知ノヤウニ、主トシテ國道ノ改良デアリマスガ、是ハ何時カモ大口サンカラ御話ガアリマシタヤウニ、事務費ハ全部國ノ負擔デアリマスガ、事業費ノ三分ノ一ハ地方ガ負擔シテ居リマス、歳出豫算カラ事務費ヲ除キマシテ、残りノ工事費ノ三分ノ二ガ公債ニナツテ居ルノデアリマス、費目ハ後程書イテ差上ゲマス

○大口委員 震災ノ方ノモ色々ヤツテ見タノデスガ、ドウモ私共ガヤツタノデハ合ハヌノデス、ソレデ一ツ後程御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋政府委員 スウ云フコトガ一ツアリマス、震災善後費デ、今具體的ノ増加額ハ忘レマシタガ、前年度震災善後公債ガ募集セラレマス、決算ノ時期ニナツテ、歳入ヨリ餘計募集サレタト云フ譯ニナツテ、隨テ翌年度ニ差益ガアルト云フヤウナ關係モアルカト思ヒマス、是ハ後デ數字ニ付テハッキリ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○大口委員 ソレハサウ云フ風ニ願フコトニ致シマス、モウ一ツ承リタイノハ滿洲事件費ニ關スル經費支辨ノ爲ノ公債デアリマスガ、是モ私ノ計算シタコトダカラ多少ノ間違ハアルカモ分リマセヌガ、私ノ計算シタ所ニ依ルト、滿洲事件費ノ昭和十年度分ト稱スルモノハ、一億八千萬圓餘デス、所ガ滿洲事件費トシテ募集サレル公債ハ一億七千五十萬圓限トナツテ居リマスカラ、其間ニ差ガアル、略、私ハ推測ハシテ居リマスガ、其差額ノ金ハ何處カラ來ルノデセウカ

○賀屋政府委員 ソレハ大體斯ウデアリマス、只今震災善後公債ニ付キマシテ假說的ニ申上ゲマシタヤウニ、滿洲事件公債ヲ募集

集致シマスル場合ニ、年度ノ途中ニ於キマシテ、其時ノ狀況、其他ニ鑑ミマシテ募集致シマスガ、決算ニナリマスルト、不用額ガ出ル譯デアリマス、サウ致シマスルト、ソコデ募集過ト云フ問題ガ起ル場合ガアリマス、ソレカラ尙ホ多少デアリマスルガ、軍事費ニハ獻納金ガアリマス、之ヲ滿洲事件費ニ充テル方ガ、獻納者ノ意思ヲ推測致シマシテモ、宜シイノヂヤナイカト思ヒマス、サウ云フ今迄ニ分リマシタモノダケハ

八年度迄ニ入ッテ居リマスガ、ソレハ八年度ノ決算デハ分リマセヌモノデスカラ、公債ハサウ云フモノヲ差引イテ募集スルト云フ譯ニ參リマセヌノデ、少シ募集過ニナリマス、サウ云フコトガ分ッテ譯デアリマス、今度ハソレヲ引イテ居リマシタカラ、多分二三萬圓ハソコデ違ヒガ出ルト思ヒマス、是モ亦數字ヲ後程申上ゲマス

○大口委員 ソレハサウデナイ、其位ノ二三十萬圓ノ差ナラ私直グ分リマス、一寸一十萬圓近ク違ッテ居ル、九百幾ラ違ッテ居ル、恐クハソレハ歲入ノ方ニアル滿洲國防費分擔金受入、是ガ此方ニ廻ッタノヂヤナイカト思ヒマスガ、如何デセウカ

○賀屋政府委員 私ハ少シ先ニ走り過ギマシタガ、第一ハ御話ノ通りソレデアリマス、ソレカラ第二ハ特別會計ノ滿洲事件費ハ今一般財源デス、關東廳、朝鮮總督府ト同様、ソレデ特別會計ノ滿洲事件費ハ公債財源ガナイコトニナリマス、一般會計ノ滿洲事件費ニ限リマシテ、其中デ一番金ノ嵩ミマスモノハ、今御話ノ通りデアリマス、其他ニ尙ホ數字ニ合ハヌ所ガアリマスノハ、先刻申上ゲタ通りデアリマス

○大口委員 御話ノ通りト言ハレルノハ一歲入ニアル滿洲國防費分擔金受入ト云フモノハ、此滿洲事件費ノ中ニ幾ラカナリマスカ

○賀屋政府委員 是ハ私共屬僚デアリマスカラ、少シ言葉ガ固クナリマスガ、法律的ニソレヲ滿洲事件費ニ充デルト云フ筋ニ法律的ニハ規定ハ致シテ居リマセヌガ、滿洲國防費分擔金ヲ分擔致シマスル精神ニ鑑ミマシテ、是ガ一番直接ニ日滿共同ノ國防ノ費用デアリマス、ソレガ入ッタモノデアリマスカラ、此分ハ公債財源ニ依ラズニ、先ヅソレヲ充テルト云フ豫算ノ編成ノ腹積リデアリマス、ソレデ其金ヲ引下ゲマシタ

○大口委員 ソレデ大體分リマシタ、サウスルト私ハ少シ承リタイノデアリマスガ、先日此豫算總會ニ於キマシテ、吾々ノ同僚

太田正孝君ヨリ此歳入ニ於ケル滿洲國國防費分擔金ノコトデ承リマシタ所ガ、陸軍大臣ハ政府委員ヲシテ御答致サセマスト言ハレマシテ、ソレニ代ラレテ賀屋政府委員ガ御答ニナリマシタ、其御答ニ依リマス、

此分擔金ハ滿洲國側ニ於テ負擔ヲ致シタイト云フアチラノ意思ニ依ッテコチラガ受入レタト云フ御答辯デアッタノデアリマス、此處ニ私ハ一ツノ大ナル疑問ヲ有ツノデアリマス、デハハドナタカラ御答ニナッデモ宜イ譯デアリマスガ、政府ヲ代表シテノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデスガ、日滿議定書ノ上ニ於テサウ云フ條約ガアルモノデアレバ、是ハ陛下ノ御裁可ヲ經テ居ルモノデ、當然受入レベキモノデアリマスケレドモ、據リ所ガナクシテ外國カラ我國ノヤル行動ニ對シテ、假令共同ノ國防デアルニシテモ、分擔金ヲ貰フト云フコトニナルト、是ハ中々ムツカシイ問題ダト思フノデスガ、何カ據リ所ガアッテ受入レラレルノデセウカ、先方ガ是ダケノモノヲ日本ニ呉レルト云フコトハ、洵ニ其好意ハ有難イコトデ、飽ク迄感謝致サネバナリマセヌガ、日本ガ國家トシテ之ヲ受入レルニ付キマシテハ、向フノ好意ガ有難イカラト言ッテ無暗ニ受入レラレルモノデヤナイノデアリマス

ガ、ドウ云フヤウナ根據ニ依ッテ之ヲ受入レラレルノデアリマセウカ、一應承リタイト思ヒマス

○賀屋政府委員 只今ノ御尋デアリマスルガ、此日滿議定書ト申シマス、其精神ニ依リマシテ文句ノ上ニハ別ニサウ云フ規定ハナイコトト、私私ハ一寸不十分デアリマスガ、サウ存ジテ居リマス、其精神ニ依リマシテ滿洲國側カラ申出ガアリマシテ、ソレヲ日本政府ガ承諾致シタノデアリマス、矢張り日滿兩國間ノ合意、約束ト云フコトガ其歳入ヲ受入レル基本ニナッテ居ルト存ジマス、尙ホソレデハ實質的ニ其國防費ノ何割ヲ負擔スルトカドウトカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ先日モ豫算委員會デモ御答ヲ申上ゲマシタ通り、別ニ兩國ノ間ニ何割負擔スルト云フ合意ハナイ、是ハ私ニハ大キ過ギルカモ知レマセヌガ、只今滿洲國モ、何ト申シマスルカ生長發達ノ過程デアリマスカラ、サウヤカマシクドレダケ負擔スルト云フヤウナコトヨリモ、滿洲國ガ自分ノ財政状態ヲ緩和致シマシテ、此位ハ出シテモ差支ナイカラ、日本ノ方ニ貢獻シヨウ、斯ウ云フ意嚮ヲ尊重シテ、其金額ノ申出ガアリマシタ場合ニ、其儘受入レル、其受入レマスコトニ依ッテ、兩方ノ合意ガ

成リマシテ、ソレガ歳入ノ基礎デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大口委員 是ハ中々重大ナ問題デ、私ハ其議論ヲ致シタクナイ、日本帝國ト云フ國家ノ威信ノ爲メ、又國家ノ大精神ノ上ヨリ、政府トモ餘程御協議シタイト思フノデス、今回出テ居ル豫算中此位國家ニ對シテ重大ナ問題ハナイト實ハ感じテ居ル、ソレ故ニ豫算總會デ第一ニ御質問申サウカト思ッタノデスガ、是ハ中々大キナ問題ニナルト、容易ナラヌ國家ノ大精神ノ問題ニナルノデアルカラ、段々政府ノ御意見ヲ承ッテ、然ル後ニ吾々ノ態度ヲ決メタイト考ヘルノデアリマスガ、一ツ違ヘバ列國カラ日本ヲ何ト見ルカト云フマデノ重大問題ニナルト思フノデアリマス、ソレ故ニ是ハ一ツ責任アル政府ノ御答辯ヲ得タイノデアリマスガ、此根據ハ日滿議定書ニアルノデアリマセウカ、根據ハ日滿議定書ノ精神ヲ汲ンダト言ハレルカ、精神ヲ汲ムトカ、文句ガ無イトカ有ルトカト云フコトハ、是ハ後トデ段々申シマス、根據ガ日滿議定書ニアルノデセウカ、之ヲ承リタイノデス

アリマス、私共ハ非常ニ結構ナコトデアルト思ッテ居リマスガ、重大ナ問題デアリマスルカラ、私共ヨリハ御答ヲ申上ゲマセヌデ、又適當ナ政府ノ方カラ御答ガアルヤウニ私共考ヘテ居リマス

○大口委員 滿洲國國防費分擔金受入トナッテ居ラネバ是ハ又宜イデス、所ガ茲ニ表向キノ條約モナク、兎ニ角外國ナンダカラ、外國カラ我國ガ共同デヤッテ居ル仕事、其共同デヤッテ兵ヲ出シタト云フノハ、ムヅカシク言フト、ムヅカシク言ハヌデモサウデスケレドモ、陛下ノ軍隊ヲ動カシテ居ル、國民ハ義勇奉公ノ精神ニ依ッテ國家ノ必要上命ヲ棄テ、居ル、其經費ヲ外國ニ分擔シテ貰ッテ、之ヲ受入レルト云フコトニナルト、アチラノ好意ハ洵ニ有難イ、是ハ感謝シナケレバナラヌケレドモ、我が國家ガ其存立ノ上カラ言ッテ、是ハ容易ニ受入ラレルカドウカ大問題デアリマス、ダカラ其滿洲國國防費分擔金ト云フノヲ滿洲カラ頂戴ヲ致シテ、向フニ好意ガアルカラ有難ク頂戴シテ、受入レルト云フ根據ガナケレバナラス、ソコデ此根據ハ今ノ御説明ニ依ルト、日滿議定書ノ精神ニ多ク出テ居ルヤウデアルガ、是ハドウモ主計局長ヲ追窮シテハ氣ノ毒ダカラ言ヒ兼ねルケレドモ、他

ニ政府ヲ代表シタ政務官ガ御出デニナルカラ、果シテハ日滿議定書ヲ根據トシテ居ルカドウカ、政府ノ御決答ヲ煩シタイノデアリマス

○矢吹政府委員

只今大口サンノ御質問ヲ私共拜聽シテ居リマシテ、非常ニ重要ナコト、承ツタノデアリマス、賀屋政府委員ヨリ御答申上ゲマシタガ、私共モ此滿洲國ノ國防費分擔金ヲ滿洲國ガ日本政府ニ納メル其基礎ニナリマシタ考ハ、矢張日滿議定書ノ精神ニアルト察シテ居ルノデアリマス、併シ仰セノ如ク假ニソコニ根據アリトシテモ、帝國ノ軍隊ニ要スル費用ヲ若干滿洲國ニ負擔サセルト云フコトノ是非等ニ付キマシテハ御議論モアラウカト考ヘマス、隨ヒマシテ私ガ政府ヲ代表シテ此場合御即答申上ゲルト云フコトハ、問題ノ性質ニ鑑ミマシテ如何カト存ジマスノデ、篤ト政府ノ意嚮ヲ確メタ上ニ御返答申上ゲマスカ、ソレトモ總理大臣、或ハ外務大臣、陸軍大臣等國務大臣ニ一應御質問願フコトガ適切デアラウカト考ヘマスノデ、此場合私カラ申上ゲルコトハ御遠慮シタイト思ヒマス。

○大口委員

其政府委員ノ御答辯ハ御尤ダト思ヒマス、此處デ今御列席ノ諸君ヲ、私ハ追究シテドウシヨウナント云フ考ハナ

イ、是ハ餘程此豫算ヲ決定スル上ニハ私ハ大問題ダト思フ、表題ガモウ少シ何トカナッテ居レバ宜イガ、ハッキリ滿洲國々防費分擔金トシテアッテ、滿洲國ガ支出シテ日本政府ガ受取ルト云フ、是ハ政府ト政府トデ相談合デ斯ウ云フコトガ果シテ出來ルモノカドウカ、是ハ私ハ餘程考ヘモノダト思フノデス、是ハ私ハ外交ノコトヲ能ク知りマセスカラ、丁度外務省ノ政府委員ガ御出デニナルカラ承ルト宜イデスケレドモ、外交上カラ考ヘテモ、是ハ中々ドウモ國家トシテ大切ナコトダ、殊ニ列國ガ、日本ガ滿洲ニドウ云フコトヲスルノカト見テ居ル時ニ、兎ニ角 陛下ノ軍隊ヲ彼處ヘ動シ、徴兵デ取ラレテ居ル義勇奉公ノ國民ヲ彼處ヘ出シテ、命ヲ的ニサシテ國家ノ爲ニ働シテ居ル、少シデモ其費用ヲ滿洲國カラ甘シジテ受取ルト云フコトニナッタナラバ、日本ガ今日マデ東洋ノ平和ヲ永遠ニ維持シ、何時モ義勇奉公ノ精神ニ依ッテ、日清、日露ノ戰役ヲ爲シ、有ユル犠牲ヲ拂テ居ル精神ガドウモ疑レハセヌカ、萬々ガ一ニモソシナコトハ斷ジテ日本帝國ニハナイ、ナイカラ吾々ハ餘程是ハ慎重ニセネバナラヌト思フ、是ハ私カラ總理ニ御質問ニナッテハト仰シヤルガ、此處デ質問シタノデスカラ、

是ハ私ノ方ヘサウ云フコトヲ仰シヤラズニ御研究ノ上此處デ先ヅ私ニ御答下サルコトガ當然ダト思ヒマス、ソレガ矢張滿洲事件費ノ公債ニ影響ヲ有ツノデスカラ、サウ云フコトニ願ヘマスレバ私ハ今日ハモウ是以上ハ質問申上ゲマセヌガ、大切ナ事デ議論スベキ問題デヤナイノデスカラ、ドウカサウ願ヒタイ、ソレヲ御承知下サレバ私ノ質問ハ今日ハ是デ打切りマス

○賀屋政府委員

只今大藏政務次官カラ仰セニナリマシタ所デアリマスカラ、何レ政府ヲ代表シテ御答ハアルコト、思ヒマスガ、今ノ國防費分擔金トアルト云フ御話デアリマスガ、此科目ノ名前ハサウデアリマス、科目ノ名前ハ、實ハ大口サン御承知ノ通り、吾々共ノ方デ研究致シマシテ決メルノデアリマスカラ、一言申上ゲテ置キマス、陛下ノ軍隊ガ滿洲國ノ國防ニ任ジマスルコトハ、即チ日本ノ國防ニ任ズルコトデアルト思ヒマス、滿洲國ノ國防ハ日本ノ國防デアアル、日本ノ國防ハ滿洲國ノ國防デアアル、一體不可分、日滿共同ノ國防ノ精神ニ從ッテ日滿兩國ハ東洋平和確立ノ爲ニ共同シテ國防ヲ致シテ居リマス、兩方一體デアリマス、隨テ軍隊モ、滿洲國ノ軍隊モアリ、日本ノ軍隊モアル、ソレガ一ツノ精神ニ依ッテ

動イテ居ル、隨テ其軍隊ニ付テ要リマスル經費モ、兩國ガ一緒ニナッテ之ヲ負擔スルト云フ精神デアリマス、兩方ガ御互ニ出來ルダケ分ケテ負擔シテ行カウ、斯ウ云フ精神デアリマス、其精神ダケハ私ハ政府ノ意嚮ヲ伺ッテ居リマス、ソレデ分擔金トシテ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○大口委員

只今ノハ豫算ノ科目ヲ御決メニナル理由ニ付テ政府委員ガ御答ニナツタコト、思ヒマス、敢テ私ハ只今ノ御意見ニ對シテハ彼此レ申サウトハ思ヒマセヌガ、今ノ御意見ガ出ルト私ハ一應申述ネバナラス、此日滿議定書ニ書イテアル所ニ依リマスレバ、御説ノ通り東洋ノ平和ヲ永遠ニ維持シ、大キク言ヘバ世界人道ノ爲ニ日滿兩國ガ一ツノモノニナッテ滿洲國ノ國防ニ任ズル、又是デ讀ンデ見ルト、我が日本國ガ何カ外カラ侵サレルヤウナ場合ニハ、同時ニ滿洲國ニモ影響スルカラ、ソレマデモ滿洲國ガ考慮セネバナラヌヤウナ意味ニモ書イテアル、所ガ今日ハ主ニ滿洲國ノ此國防ガ事實上ノ問題ニナッテ居ル、所ガ日本ガ兵ヲ出スノハ、今政府委員ノ言ハレタ通りノ精神デ出シテ居ルニハ相違ナイケレドモ、其中ニ於テ日本帝國ガ日本帝國ノ自ラ必要ト認ムルダケノ軍隊ヲ滿洲國ニ出シ得ルノデ

ス、ダカラ日本ガ日本ノ軍隊ヲ滿洲國ニ出
ス場合ニハ滿洲國ト共同ノ精神デ、共同ノ
動作ノ爲ニ出シテ居ルニハ相違ナイガ、我
國ト滿洲國トノ間ニ話ガ出來テ、是ダケノ
軍隊ヲ滿洲國ニ出スト決メテ實行スル場合
ハ、滿洲國ノ關係ハ受ケテハ居リマセヌ、
言葉ヲ餘程慎マネバナラヌガ、何モ滿洲國
ノ干涉ハ受ケナイ譯デス、ダカラ何モ日本
帝國ハ日本帝國自ラ信ズル限度ニ於テ、日
本帝國ノ軍隊ヲ動シテ居ル、ソレダカラ吾
吾モ國家ニ盡ス觀念ヲ以テ、何處マデモ滿
洲ノ野デ死ヌノデス、日本帝國ガ日本帝國
トシテ必要ト認メテ出シ居ル軍隊ノ、ソレ
ニ要スル費用ヲ假令動作ガ共同デアルカラ
ト云ッテ、滿洲國カラ經費ヲ出シテ、其經費
ヲ日本帝國ガ受入レルト云フコトガ、果シ
テ我國ノ大精神ニ適フカドウカ、是ハ大キ
ナ問題デアリマス、ダカラ私ハ此處デ議論
ハ慎ミマス、慎ミマスガ、今回ノ豫算案編
成中ニ於テ此位ナ大問題ハナイト私ハ考ヘ
ル、ケレドモ是ハ濫リニ議論スベキ問題デ
ナイト思ヒマス、先ヅ段々熟慮シテ、サウ
シテ政府ト議論ニナライヤウニシテ私ハ
解決シタイト思ヒマスカラ、私ハ是デモ餘
程平素ノ私ノ性質ヲ抑ヘテ妥協的ニ質問シ
テ居ル積リデス(笑聲)ソレデアリマスカラ

只今ハ先ヅコ、ラデーツ質問ヲ打切ッテ置
キマスカラ、政府ガ肚ヲ御決メニナッテ御
答辯アルヤウニ願ヒマス

○岡田委員長 サウ願ヒマス、改メテ御相
談ノ上デ御返答ヲ願フコトニ致シマス――
大口君宜シウゴザイマスカ

○大口委員 宜シウゴザイマス

○岡田委員長 ソレデハ今日ハ先刻申シタ
ヤウニ、是レ以上進行出來マセヌカラ是デ
散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致
シマス

午前十一時五十分散會

昭和十年二月五日印刷

昭和十年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社